

今月の特集関連本③

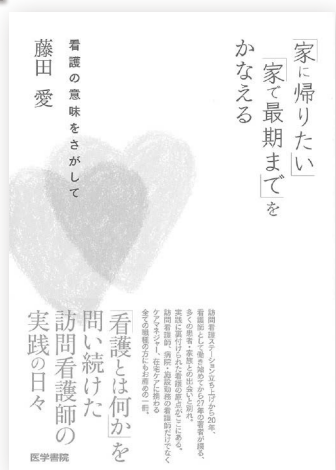


認知症の心理アセスメント はじめの一步

黒川由紀子、扇澤史子＝編

本体 2,800 円＋税／B5 判・184 頁／医学書院／2018

本特集内「認知症診療トピックス③」(p.1501)にご執筆の扇澤史子氏が編集！
今後心理職のより深い関わりが求められる「認知症」。そのアセスメントから支援への導き方までを学べる本が登場。検査結果の背景に脳のどんな障害があるのか、イラストと豊富なデータ、事例でしっかり解説し、公認心理師試験対策にも生かせる「神経心理学」の基本が身につく。病院や地域、福祉施設などさまざまな場面でのアセスメントと支援、報告書の書き方も明快に提示。認知症に関わる心理職が“はじめの一步”を踏み出せる 1 冊！



「家に帰りたい」「家で最期まで」をかなえる

看護の意味をさがして

藤田 愛＝著

本体 2,300 円＋税／A5 判・282 頁／医学書院／2018

訪問看護ステーション立ち上げから 20 年、看護師として働きはじめてから 27 年の著者がつづる、多くの患者・家族との出会いと別れ。「家に帰りたい」「家で最期まで」をかなえるために奮闘してきた著者の実践は、読者に感動と勇気を与える。看護とは何か、看護師の存在する意味が問われている今、訪問看護師、病院・施設勤務の看護師だけでなくケアマネジャー、在宅ケアに携わるすべての職種の人にお薦めの書。